

2019年度 茨城大学教員免許状更新講習シラバス

【選択】発達障害の二次障害に対する理解と支援(新課題)

※この講習を受講する方はハ-107,ハ-301を受講することができません。

クラスCD	ハ-101	開講日・定員	6/9(日)・40名
対象職種	教諭、養護教諭、栄養教諭	講習会場	茨城大学水戸キャンパス
講習科目名	発達障害の二次障害に対する理解と支援	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	矢嶋 敬紘 (やじま たかひろ)	所属	全学教育機構
主な受講対象者 これ以外の希望者も受講可	全教員	担当時間	6時間
講習内容	発達障害の二次障害に対する理解を深めるとともに、具体的な支援の実際について学ぶ。 特に、通常の学級に在籍する発達障害が疑われる園児・児童・生徒に対する支援について、二次障害予防に関する解説や、支援に関わる学内外組織との連携、保護者や関係者との情報共有の実践について学んでいく。		
到達目標	1) 発達障害の二次障害に対して適切に理解できる。 2) 発達障害の二次障害に対する、具体的な支援の実践についてのイメージができる。		
受講者への 事前連絡事項	講習時に適宜プリントを配布する。		
成績評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> 実技考査 <input type="checkbox"/> 口頭試験 <input type="checkbox"/> その他 (備考)	認定試験に関して	<input checked="" type="checkbox"/> 講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。 <input type="checkbox"/> 持ち込みは不可とする。 (備考)

【選択】食教育(新課題)

クラスCD	ハ-102	開講日・定員	6/9(日)・24名
対象職種	教諭、栄養教諭	講習会場	茨城大学水戸キャンパス
講習科目名	食教育	講習の形態	講義・実習
担当講師名(ふりがな)	西川 陽子 (にしかわ ようこ)	所属	教育学部
主な受講対象者 これ以外の希望者も受講可	中・高教諭(家庭)、栄養教諭	担当時間	6時間
講習内容	<p>以下、1)～3)の内容について講義と実験・実習により理解を深める。</p> <p>1)日本の食生活の現状と課題(子どもの食生活を中心に栄養学的視点から)</p> <p>2)和食とは何か(食文化教育が目指す到達点、食文化と環境の関係)</p> <p>3)食の外部化への対応(消費者側に求められる食生活における姿勢と知識)</p>		
到達目標	<p>・今後懸念される日本の食生活における問題(食の安全、食と環境の関係など)を理解し、それら変化に柔軟に対応できる生活者を育むための家庭科をはじめとする食教育の展開が図れるようになる。</p>		
受講者への 事前連絡事項	<p>・白衣(エプロン)、ハンドタオル、上履き(スリッパ)をご持参ください。</p> <p>・講義で使用するテキスト及び実習材料はこちらで用意します。</p>		
成績評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> 実技考査 <input type="checkbox"/> 口頭試験 <input type="checkbox"/> その他	認定試験に関して	<input checked="" type="checkbox"/> 講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。 <input type="checkbox"/> 持ち込みは不可とする。
	(備考)		(備考)

【選択】学級経営の視点から見た教育問題への対応(新課題)

クラスCD	ハ-103	開講日・定員	6/9(日)・40名
対象職種	教諭、養護教諭、栄養教諭	講習会場	茨城大学水戸キャンパス
講習科目名	学級経営の視点から見た教育問題への対応	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	菊地 利幸 (きくち としゆき)	所 属	全学教職センター
主な受講対象者 これ以外の希望者も受講可	全教員	担当時間	6時間
講習内容	<p>学校現場では、児童生徒の間に「いじめ」「不登校」あるいは「保護者からのクレーム対応」等の教育問題が山積している。このような問題が起こったときに、教員だけでなくスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の外部の専門家等との協力体制がが欠かせない。本講義では、いくつかの事例を考えて、こうした事例に学級経営の視点からどのように対応するかをアクティブラーニング形式(ロールプレイやグループワーク等)で行い課題を検討していく、講習には積極的に臨んでいただきたい。</p>		
到達目標	<p>「チームとしての学校」をふまえ、外部の専門家等の活用の状況とそれをふまえた、「いじめ」「不登校」「保護者対応」とに関して、従前より理解することができたか。異職種における活用の状況を知り、今後の教育活動に役立てることができるか。等を目標とする。</p>		
受講者への 事前連絡事項	特にありません。		
成績評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験	認定試験に関して	<input checked="" type="checkbox"/> 講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。
	<input type="checkbox"/> 実技考査		<input type="checkbox"/> 持ち込みは不可とする。
	<input type="checkbox"/> 口頭試験		
	<input type="checkbox"/> その他		
	(備考)		(備考)

【選択】電子メディアの教育活用(新課題)

クラスCD	ハ-104	開講日・定員	6/9(日)・50名
対象職種	教諭のみ	講習会場	茨城大学水戸キャンパス
講習科目名	電子メディアの教育活用	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	菅谷 克行 (すがや かつゆき)	所 属	人文社会科学部
主な受講対象者 これ以外の希望者も受講可	小・中・高教諭	担当時間	6時間
講習内容	インターネット上で流通しているデータ・情報・コンテンツやパソコン・スマートフォンなどの電子メディアを教育で有効活用する方法について、講義・グループワーク・対話を交えながら受講者全員で考えることを目的とする。特に電子メディアの特徴(明・暗の両面)を理解することに意識を向けながら、メディア論や教育工学の視点で議論を展開したい。題材としては、近年の電子メディア環境の動向や事例として、電子書籍、SNS、AR、VR、AI、IoT、Society5.0などを取り上げる予定である。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・電子メディアの特徴を複眼的に理解できる ・電子メディアを教育で活用する方法について考案できる 		
受講者への 事前連絡事項	特になし		
成績評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験	認定試験に関して	<input checked="" type="checkbox"/> 講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。
	<input type="checkbox"/> 実技考査 <input type="checkbox"/> 口頭試験 <input type="checkbox"/> その他 (備考)		<input type="checkbox"/> 持ち込みは不可とする。 (備考)

【選択】保健体育総論/柔道の学習指導(新展開)

クラスCD	ニ-101	開講日・定員	6/9(日)・30名
対象職種	教諭のみ	講習会場	茨城大学水戸キャンパス
講習科目名	保健体育総論	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	吉野 聡 (よしの さとし)	所 属	教育学部
主な受講対象者 これ以外の希望者も受講可	小・中・高教諭(保健体育)	担当時間	3時間
講習内容	<p>・小・中・高等学校の体育・保健体育科において示されている新学習指導要領の内容を概観するとともに、それらの趣旨を踏まえた授業づくりの要点を整理する。</p>		
到達目標	<p>・小・中・高等学校の体育・保健体育科において示されている学習指導要領の内容について理解する。 ・新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくりについて説明することができる。</p>		
受講者への 事前連絡事項	<p>・特に本講習で実技は行いません。筆記用具を持参してください。</p>		
成績評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験	認定試験に関して	<input checked="" type="checkbox"/> 講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。
	<input type="checkbox"/> 実技考査		<input type="checkbox"/> 持ち込みは不可とする。
	<input type="checkbox"/> 口頭試験		(備考)
	<input type="checkbox"/> その他		(備考)
(備考)			
講習科目名	柔道の学習指導	講習の形態	講義
担当講師名(ふりがな)	中嶋 哲也 (なかじま てつや)	所 属	教育学部
主な受講対象者 これ以外の希望者も受講可	小・中・高教諭(保健体育)	担当時間	3時間
講習内容	<p>・新学習指導要領では中学校保健体育の必修教材として武道は伝統を学ぶ機会として期待されている。本講習では、柔道の礼法の歴史を概観し、その所作・目的等の変遷を追いながら、武道の伝統にどのような意義があるのかを考える機会にしたい。</p> <p>・新学習指導要領にある「相手の動きに応じる」方法として技そのものではなく、「崩し」という基本動作の視点から把握する。</p>		
到達目標	<p>・礼法の歴史を理解すること。 ・崩しの理が技のどういったところに見られるかを理解できるようになること。</p>		
受講者への 事前連絡事項	<p>新学習指導要領の内容を確認しておいてください。</p>		
成績評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験	認定試験に関して	<input checked="" type="checkbox"/> 講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。
	<input type="checkbox"/> 実技考査		<input type="checkbox"/> 持ち込みは不可とする。
	<input type="checkbox"/> 口頭試験		(備考)
	<input type="checkbox"/> その他		(備考)
(備考)			

【選択】発話の背後にある意味を探る/English Teaching Techniques (英語授業の手法)(新展開)

クラスCD	ニ-102	開講日・定員	6/9(日)・50名
対象職種	教諭のみ	講習会場	茨城大学水戸キャンパス
講習科目名	発話の背後にある意味を探る	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	安原 正貴 (やすはら まさき)	所 属	教育学部
主な受講対象者 これ以外の希望者も受講可	小・中・高教諭(英語)	担当時間	3時間
講習内容	日常生活における会話において相手の発話を正しく理解するためには、その発話の背景や前提について正しく知っていなければならない。背景や前提に基づいて発話の解釈を探る英語学の分野を語用論と言い、語用論を学ぶことは英語を理解する上で非常に重要である。本講習では、日常で起こりうる発話等を通じて語用論に触れ、英語の理解を深めることを目的とする。		
到達目標	語用論の観点から英語の発話を観察し、発話の背後にある意味の理解を深めることを目的とする。		
受講者への 事前連絡事項	教材は当日配布します。		
成績評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験	認定試験に関して	<input checked="" type="checkbox"/> 講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。
	<input type="checkbox"/> 実技考査		<input type="checkbox"/> 持ち込みは不可とする。
	<input type="checkbox"/> 口頭試験		(備考)
	<input type="checkbox"/> その他		(備考)
(備考)			
講習科目名	English Teaching Techniques (英語授業の手法)	講習の形態	講義
担当講師名(ふりがな)	Timothy Dennis Toole(ティモシー・デニス・トゥール)	所 属	非常勤講師
主な受講対象者 これ以外の希望者も受講可	小・中・高教諭(英語)	担当時間	3時間
講習内容	A 4-part class. In Part 1, we will be focus on the basic mistakes that are made by non-native speakers of English. In Part 2, effective techniques for using English to teach a subject other than English itself will be demonstrated (in this case we will be studying the background of Christmas). In Part 3, we will use English to play a simple card or Bingo. In Part 4, a test on the basic mistakes covered in Part 1 will be given.		
到達目標	The students will learn ways to make the study of English more meaningful and fun.		
受講者への 事前連絡事項	No food or drinks in the classroom please.		
成績評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験	認定試験に関して	<input checked="" type="checkbox"/> 講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。
	<input type="checkbox"/> 実技考査		<input type="checkbox"/> 持ち込みは不可とする。
	<input type="checkbox"/> 口頭試験		(備考)
	<input type="checkbox"/> その他		(備考)
(備考) Grades will be determined by the scores on the test. Students may look at their notes while taking the test.			

【選択】小学校プログラミング教育(新展開)

※この講習を受講する方はニ-221を受講することができません。

クラスCD	ニ-103	開講日・定員	6/9(日)・30名
対象職種	教諭、養護教諭、栄養教諭	講習会場	茨城大学水戸キャンパス
講習科目名	小学校プログラミング教育	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	小林 祐紀 (こばやし ゆうき)	所属	教育学部
主な受講対象者 これ以外の希望者も受講可	全教諭	担当時間	6時間
講習内容	小学校プログラミング教育に関する現状と今後の展望について、先進的な実践事例、日常的な実践事例をもとに講義する。また、実際にWeb上のプログラミング学習サービスやロボティクス教材を使用し、演習を交えて今後の小学校プログラミング教育の在り方を検討する。なお、受講対象は全校種の教員であるが、内容はあくまでも小学校プログラミング教育とする。		
到達目標	1) 新学習指導要領における小学校プログラミング教育の目的及び内容を理解すること。 2) 小学校プログラミング教育の具体的な授業イメージを持ち、指導する力量を培うことができる。		
受講者への 事前連絡事項	小学校プログラミング教育について、新学習指導要領上の記載、書籍、ウェブなどから情報を得ておくこと。		
成績評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験	認定試験に関して	<input checked="" type="checkbox"/> 講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。
	<input type="checkbox"/> 実技考査		<input type="checkbox"/> 持ち込みは不可とする。
	<input type="checkbox"/> 口頭試験		
	<input type="checkbox"/> その他		
	(備考)		(備考)

【選択】幼児教育の現状と課題(新展開)

※この講習を受講する方はニ-108,ニ-208,ニ-301を受講することができません。

クラスCD	ニ-104	開講日・定員	6/9(日)・30名
対象職種	教諭、養護教諭、栄養教諭	講習会場	茨城大学水戸キャンパス
講習科目名	幼児教育の現状と課題	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	神永 直美 (かみなが なおみ)	所 属	教育学部
主な受講対象者 これ以外の希望者も受講可	全教員	担当時間	6時間
講習内容	<p>・新幼稚園教育要領の基本的な方向性について、社会情勢の変化(幼児教育の無償化、子ども・子育て支援制度施行、幼児教育の重要性への認識の高まり、保護者支援の重要性、保幼小連携の必要性、茨城県の取組み)を踏まえ概説する。</p> <p>・養護教諭や栄養教諭も含めたそれぞれの立場から総合的に理解し、これからの教育を考える視点とする。</p>		
到達目標	<p>(1) 幼児教育をめぐる社会情勢の変化を理解する。</p> <p>(2) 今後の幼児教育の方向性について理解する。</p>		
受講者への 事前連絡事項	幼稚園教育要領を持参してください(インターネットでダウンロードもできます)。		
成績評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験	認定試験に関して	<input checked="" type="checkbox"/> 講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。
	<input type="checkbox"/> 実技考査		<input type="checkbox"/> 持ち込みは不可とする。
	<input type="checkbox"/> 口頭試験		
	<input type="checkbox"/> その他		
	(備考)		(備考)